

福島町議会 全国と比較し自己評価

【福島】福島町議会（溝部幸基議長）は、2006年の議会議員活動への自己評価結果をまとめた、「全国の町村議会と比較して3段階で表示する自己評価」は、33項目中、昨年より項目少ない24項目で「おおむね一定の水準（○）」とし、活発化が継続的に進んでいる。一般質問や住民参加度、専門度などで低い評価が目立ち、公開度と参加度を高めるためにはインターネット放映の必要性が示された。



評価結果を踏まえて9日は「会議公開の充実」が、各自が具体的な内容を最初に初めて実施した夜間議（△）。課題とされたインターネット放映は、実施項目と評価基準が議員には前向きだが、予算確により異なるため、議会の公開度は前回より項目す保の見通しが立っていない。活動の姿勢を測る材料にもなる。また07年からは

ネット放映の必要性示す

も進むも課題多く

同議会が進めている町民に開かれた議会の実現。議員が積極的に発言し、住民参加度を高めることを目的に、05年9月から実施している。議会の評価は、議員本人が行った。評価は議会運営委員会（安藤英雄委員長）が下。昨年7月に議員と議員本人が行った。評価は議会運営委員会（安藤英雄委員長）が下。昨年7月に議員と議員本人が行った。評価は議会運営委員会（安藤英雄委員長）が下。昨年7月に議員と議員本人が行った。

「数」も△にダウン。「討」とつながった。評価は議会運営委員会（安藤英雄委員長）が下。昨年7月に議員と議員本人が行った。評価は議会運営委員会（安藤英雄委員長）が下。昨年7月に議員と議員本人が行った。

議員自身も提出HPで公開中

3項目中の項目が△。事前に「議会活動の目標」は、（公約）を掲げ、これに基いて評価すること。性化が課題として挙げられ、現時点では、今回報告された。さつ評価にかか。告示した8人に加え、1月ならず、委員会室の庁舎の補選で当選した木村隆内テレビ放映や、議員定数の合わせて9人が提出数や報酬のさらなる削減している。2回目の評価を終えて、議員評価の対象となる。溝部議長は「議会だけで13人中、前回と同じ8人。な、町もさまざまな情が任意で提出。溝部議長 報をネットを指して提と金沢秀、副議長、金沢 供すべきだ」と、町と議安藤英雄、栗田東氏、平会が一体となつて住民に野隆雄氏、栗田東氏、佐 情報提供する必要性を説藤孝男氏、安藤英雄氏 している。結果は同議会④福祉の教育⑥その他（小泉まよ）の前回と同じ項目で、

一般質問、住民参加、専門度…低い評価